

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

日時	令和 7 年 7 月 2 2 日（火）14：00～17:00	
場所	本庁舎 2 0 1 会議室（オンライン会議システム併用）	
出席者	【委員】 （五十音順） 岩崎 秀一 委員（オンライン会議） 柏崎 千佳子 委員 笹原 克 委員	【施設所管課】 市民生活部 部長 多文化共生推進課 課長 “ 担当係長 “ 職員
事務局	市民生活部企画課長、担当係長、職員	
傍聴者	2 名	
議題	(1) 川崎市国際交流センターに関する令和 6 年度指定管理の年度評価について (2) 川崎市国際交流センターに関する第 4 期指定管理期間の総括評価について (3) その他	
多文化共生推進課 担当係長	・会議の開催方法の報告 ・委員 3 名中 3 名出席により会議の成立を確認 ・会議の公開・非公開 ⇒「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に定める会議公開の原則に基づき、公開とすることで決定 ・会議録の作成 ⇒要約方式で作成することで一同了承 ・会議録の確認者 ⇒「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則」第 5 条第 2 項の規定により、委員全員により確認することで一同了承 ・会議録に委員名が記載されること、文書開示請求等があった場合に委員名が原則開示となることを確認 ・配布資料の確認 ・委員、事務局の紹介 ・委員及びその家族が指定管理者と利害関係がないことを確認 ・部会長の選出（委員の互選により笹原委員が部会長）	
多文化共生推進課 担当係長	議題 1 川崎市国際交流センターの令和 6 年度の指定管理に関する年度評価 ・民間活用事業者選定評価委員会では、所管課が行った令和 6 年度 1 年間の評価について、その評価内容が妥当であるかどうかを審議することを説明 ・年度評価シートの評価段階について説明	
笹原部会長	本委員会は、「所管課が行った年度評価が妥当であるかについて判断すること」が目的となっているので活発な議論をお願いしたい。 議事次第に従い、「議題(1)川崎市国際交流センターに関する令和 6 年度指	

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	定管理の年度評価」の説明をお願いします。
多文化共生推進課長	<資料1「指定管理者制度活用事業 評価シート」及び資料2「収支状況等確認シート」に基づき説明> ・審議の開始 ・全体について質問等
柏崎委員	令和5年度に工事を行った関係で利用率等の数値の比較が難しいと感じた。具体的に外国人来館者について、日本語教室の受講者増の記載があるが令和5年度はオンラインで実施しており、オンラインは来館者数に含まないこととされているため比較が難しいと感じた。 質問になるが、講座参加者数について、母語母文化継承支援事業は事業報告書のどの事業の人数をもとに記載をしているのか。
多文化共生推進課担当係長	令和6年度は母語母文化継承支援事業の多文化共生ふれあい事業の人数を記載している。
柏崎委員	関連しての質問になるが、21名は講師の数の認識でいいのか。令和5年度は2回で105名なのか。
多文化共生推進課担当係長	令和6年度的人数は講師の人数である。回数は事業の件数で計上している。令和5年度の数との違いは確認する。 ⇒(委員会後追記)令和5年度は母語母文化継承支援事業に外国につながる子どもの教育フォーラムが含まれていたため、人数に違いが生じている。評価シートの表記を修正する。
笹原部会長	人数を見ると極端に減っていて、事業の中止などマイナスに捉えられかねないので注釈を入れる等、記載を修正して欲しい。 ・個別の項目についての審議 ⇒利用者満足度の項目について 利用者満足度の「4」について審議する。
柏崎委員	アンケートの回収率について、事業報告書のどこに記載されているかわからない。所管課が計算しているのか。また、日本語講座はアンケートの対象

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	ではない理由についても教えて欲しい。
多文化共生推進課 担当係長	回収率については根拠が分かるように事業報告書を修正する。日本語講座については、確認させていただく。 ⇒(委員会後追記)日本語講座は年度末に自由記述形式でアンケートをとっている。
柏崎委員	日本語講座はメインの講座であるため、何かしらフィードバックがあるといいと思う。
笹原部会長	3ポツ目、講座の内容と受講者のニーズの乖離があったものについて、所管課と連携して解決を図ったと記載があるが、本委員会でもこれまでアンケートからニーズを拾うことについて指摘を行っていたところである。こちらについても事業報告書にどこか記載があるのか。
多文化共生推進課 担当係長	報告書等の資料としては掲載していない。
笹原部会長	何をもってこのような判断をしたのか。
多文化共生推進課 担当係長	定例会で毎月指定管理者から報告を受けており、改善が必要なものについては指定管理者にて対応していることを確認しているのでここにも記載させていただいた。
笹原部会長	今までの審議の経過を踏まえた改善がみられているのであれば、より評価の意図が伝わるよう何か根拠が分かるよう具体的な記載をいれて欲しい。
多文化共生推進課 担当係長	2つ目のポツに生活にほんごサロン交流会について記載があるので、その部分を検討の経過がわかるように記載したいと思う。
岩崎先生	評価を4にした理由を先ほど笹原委員がおっしゃったように明確に記載した方がいいと思う。
笹原部会長	もう少し記載を工夫した上で利用者満足度については評価を「4」、事業成果については評価を「3」ということでよろしいか。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	⇒＜一同了承＞ ⇒収支計画・実績の項目について 続いて、効率的・効果的な支出が「４」、他の項目が「３」の評価となっている。
岩崎委員	評価について点数は妥当であると考えます。まず、収支について令和６年度は約 800 万円の赤字となっているが、過去の余剰金を支出に計上していると記載があり、このような指定管理の運営を行っている事例は少ないので評価していいと思う。 また、総括評価で触れるべき事案かもしれないが、余剰金のうち約 500 万円を人件費として使用しているが、施設使用料を予算どおり確保したとしてもカバーできないことが資料から見て取れる。これはおそらく昨今の人件費の高騰によることと推測され、予定どおりに事業を行うと赤字になってしまう。 川崎市に質問だが、人件費の上昇について補償がないと指定管理の収支が成り立たなくなってしまうのではないかと懸念しているが補償などの制度はあるのか。
笹原部長	人件費の件については後ほど改めて審議したいと思う。800 万円の赤字となっているが、キャッシュフローとしては問題がないのか。
岩崎委員	短期的には赤字だが、長期的には過去の儲けを事業に充てているので問題ないと思う。開始した当初想定できなかった部分を指定管理者の努力で対応している点は評価していいと思う。
笹原部長	人件費に約 500 万円充てられている点は構造的な問題があるとの認識でいいか。
岩崎委員	そのとおりである。今回、問題提起させていただいた。人件費の補填について川崎市の考えを教えて欲しい。
企画課長	人件費の想定以上の上昇については、それぞれの所管課でも課題を認識しており、財政担当部署とも次期指定管理料の上限額の設定の協議においてはその点を加味するよう調整を行っているところである。
岩崎委員	ぜひ検討をお願いしたい。
笹原部長	今回、赤字が 800 万円と多額に見受けられてしまうのももう少し書き方は工夫してもいいかと思う。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	収支計画・実績について、評価は「4」、「3」、「3」でよいか。 ⇒一同了承 ⇒サービス向上及び業務改善の項目について 次に、サービス向上及び業務改善の取組について、適切な事業の実施は「4」、他の項目全て「3」という評価になっている。こちらについてはいかがか。
柏崎委員	参加者の増加について評価したと記載があるが、昨年度まで中止していた事業を再開し、参加者が増えたと見て取れる。しかし、それだけでは4の評価とするのは難しいと感じる。改めて、4の評価にしたポイントを教えて欲しい。
多文化共生推進課担当係長	参加者の増加も評価した点ではあるが、今回手法の部分で仕様書に記載されている手法よりも工夫して実施した点を評価している。
柏崎委員	ポジティブなものについては評価シートに記載があるが、親子で学ぶ生活にはほんごサロンは中止となっている等マイナス面については記載がない。マイナス面も踏まえて4の評価をしていいのかと疑問に感じた。関連して、多言語読み聞かせ事業については人数が増えているが、日本人の参加が多かったと記載があり、当初の目的を達成できていないように感じる。
笹原部会長	事業全体なのでポジティブな面とマイナス面どちらもあると思うが、そこを踏まえても4と評価する大きな理由がないといけなく感じる。近隣の団体との連携についても、当初の計画以上だったとの記載が必要ではないか。
多文化共生推進課担当係長	地域との連携については観光ボランティア養成講座にて触れさせていただいている。
笹原部会長	仕様書には記載があるのか。
多文化共生推進課職員	観光ボランティア養成講座については記載があるが、実際の手法については特に手法は記載していない。地域の中の施設として連携するよう取組を行った点を評価している。
笹原部会長	ただ仕様書に書いていることを行っただけでは評価できないのでもう少し記載を充実させれば評価できる。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

岩崎委員	人数が増えた点を特に評価するといった表現があるが、事業収入もあまり変わっていないため、この点を4とすることは厳しいと思う。他の部分を評価することが分かるよう記載を修正して欲しい。
笹原部会長	今回は人数の比較が様々な要因から難しいと感じる。事業の中身も工夫した点が分かるようにしないといけないと思う。
市民生活部長	全体を通して修正が必要な個所は修文していきたい。
柏崎委員	利用者の意見・要望への対応の項目で昨年も指摘したが、外国人市民アンケートについて、日本の滞在期間等の設問への回答選択肢が大雑把であるように感じる。また、質問であるがアンケートはどのような人達が回答しているのか教えて欲しい。
多文化共生推進課担当係長	アンケートはセンター受付に設置しており、センターの受付に来訪された方に回答を依頼している。
柏崎委員	例えば、日本語講座の受講者がまとめて回答しているケースもあるのか。
多文化共生推進課担当係長	同アンケートの設問8にセンターの利用目的について記載がある。そこを見ると、日本語講座だけでなく外国人相談窓口等の利用者也回答している。
笹原部会長	アンケートの設問項目について昨年度も同様の指摘があるが、何か理由があるのか。
多文化共生推進課担当係長	昨年の審議内容は共有しているが、反映されていない状況である。
笹原部会長	アンケートの効果を更に高めるためにも設問は検討してもいいのではないかと思う。
柏崎委員	資料 65 ページに記載のある利用者からの意見などに対する対応状況の、協会事業のキャンセルを促したとの記載は具体的にどのような意味なのか。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

多文化共生推進課職員	国際交流協会が実施する事業の予備日として、諸室を多く予約していたため一般の利用者が予約できなかったのがキャンセルをしたものである。
柏崎委員	「促した」との記載があるが、具体的に誰がキャンセルを促したのか。
多文化共生推進課担当係長	今回の意見は市に寄せられたものではなく、報告書に記載の表現が適切でなかったものとする。
笹原部長	予備をとることも必要だがあまりに多量で一般の利用者に影響が出てしまうのであれば、改めて指導が必要であるかもしれない。
	サービス向上及び業務改善の項目について、適切な事業の実施は「4」で、他の評価2項目については「3」でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ 続いて組織管理体制についてはいかがか。
岩崎委員	安全・安心への取組の項目において令和6年度に発生した事件について、概要と対応状況について教えて欲しい。
多文化共生推進課職員	4件中2件がマナーを逸脱した若者の利用者による事故で1つは小火、2つ目は施設備品の破損であった。他2件は駐車場のゲートバーの破損と毒入りのペットフードが撒かれていた事件であった。それぞれの事件について警察等関係機関と連携して対処したほか、所管課にもすぐに報告が行われた。
岩崎委員	駐車場のゲートバー破損についてはどのような状況で起きたものなのか。
多文化共生推進課職員	出庫時の操作ミスによるものだと聞いている。
笹原部長	今回の事業報告書に今あげられた事件は触れられているのか。
多文化共生推進課職員	報告書には施設の管理運営における事故等が記載されているので、今の案件は含まれていない。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

市民生活部長	報告書に記載があるものについては第三者からの通報によるものだと思う。
笹原部長	実際に評価シートとの整合性が図れないのでどのような事件が起きたのか、資料に記載をするべきではないか。
多文化共生推進課担当係長	御指摘のとおり資料については修正させていただく。
笹原部長	組織管理体制の項目については「3」でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ 続いて、適正な業務実施についてはどうか。
岩崎委員	警備業務についておそらく評価のポイントとしているかと推測されるが、適切に対処するのは仕様書内に記載されており、具体的に4と評価する理由について教えて欲しい。
多文化共生推進課担当係長	全体的に4の評価理由については、表現を修正したいと思う。警備業務について、確かに仕様書にも記載があるところであるが、今回発生した事件が当初の想定を上回るものであり、対処に苦慮したことも踏まえて評価させていただいた。
岩崎委員	記載の仕方によることかと思うが、苦慮した部分があり読み取れないのでもう少し記載を修正した方がいいと思う。
笹原部長	今年は例年より事件が少ないように感じたが、これも警備を重点的に対応したからという認識ではないのか。
多文化共生推進課担当係長	今回は継続的に関連した事件が発生していて、粘り強く対応している点も評価させてもらったところではある。
多文化共生推進課職員	半年以上本件に関連する対応を行っており、他の利用者からも苦情が来ていたところである。指定管理者の対応の結果、現状当該利用者は施設に来館しなくなり、安全な施設運営ができています。今申し上げた点を追記したいと思う。
笹原部長	今の記載だとあまり4とする理由が伝わらないので説明した内容を追記し

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

長	て欲しい。 適正な業務実施の項目については評価シートに記載のとおりの評価でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ 「その他加点」について、3の評価について議論したい。
柏崎委員	評価シート2ページに記載のある「多言語読み聞かせ事業」の人数について、6ページの記載と相違が生じているように感じる。併せて令和5年度の人数は大人も含めた人数なのか。また、人数が増加した点を評価していると記載があるが、報告書には日本人の参加が多かったと記載があり、評価していいのか疑問に感じる。
多文化共生推進課担当係長	6ページの令和6年度の参加者人数について、修正したいと思う。
柏崎委員	令和5年度は大人も含めた人数でいいのか。
多文化共生推進課職員	大人も含めた人数である。
柏崎委員	この評価について、記載の内容をもって外国につながる子どもへの対応を行ったとしていいのか。むしろマイナスの評価に感じてしまう。
多文化共生推進課課長	課題はあるが、課題認識を持って事業を行った点について評価をしたところである。
柏崎委員	この点についても記載の仕方になるかと思うが、人数が増えたことを評価するというのはいやではないかと感じる。
笹原部会長	外国につながる子どもへの対応と記載があるので、外国につながる子どもの教育フォーラムは大人向けの事業であるが、対応を行ったうちに含めていいのではないかと感じる。
多文化共生推進課	大人向けの事業であるが、外国につながる子どもへの支援は大人へのアプローチも必要なことなので「対応を行った」として問題ないと思う。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

課長	
笹原部会長	外国につながる子どもへの対応については人数よりも対応を行ったという点を評価した方がいいのではないかと思います。 また茶室の利用については、プラスの項目としてもいいかと思います。
岩崎委員	他の評価項目については仕様書に基づいて評価をしているかと思うが、その他加点について、仕様書に規定があるのか。何か評価の基準があるのか。
多文化共生推進課担当係長	その他加点については仕様書に記載がないものについて実施したことを評価している。
岩崎委員	この部分について昨年度は4の評価をしているが、今年度は下がっている理由はあるのか。
多文化共生推進課担当係長	仕様書に記載のない実施項目が3つあるので3の評価を行っている。
岩崎委員	評価の仕方が無限に考えられるので昨年の評価と比較できるよう整理した方がいいと思う。
多文化共生推進課担当係長	昨年度は災害時多言語支援センターの訓練に加えて、マニュアルの改定も行ったので4と評価している。
岩崎委員	併せて質問だが、災害時多言語支援センターの設置訓練について具体的にどのようなものなのか教えて欲しい。
多文化共生推進課職員	実際の災害時に多言語支援センターの設置を想定した訓練を実施している。
岩崎委員	センターの設置を想定した訓練と記載した方が分かりやすいと思う。
笹原部会長	その他加点の項目については「3」の評価でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	6 全体的な評価について審議したい。 利用者満足度の向上のためのアンケートの対応について、これまでと比べてニーズを踏まえて各事業・講座に反映したことを評価したいと思うので記載いただきたい。
多文化共生推進課担当係長	2 つ目のポツにアンケートの記載があるが、アンケートについて分けて記載した方がいいか。
笹原部会長	地域の拠点に関する記載は一つの項目として出して、アンケートについては一つで出して欲しい。
岩崎委員	記載内容の修正はないが、収入(施設利用料)の確保には努めるよう指定管理者に伝えて欲しい。
笹原部会長	7 来年度の事業執行に対する指導事項について意見はあるか。
柏崎委員	外国につながる子どもへの支援について現状なかなかできていないところであるので3 ポツ目に外国につながる子どもへの支援の充実等文言を追加できるといいかと思う。
多文化共生推進課担当係長	3 つ目のポツが御意見に近いところであるので、追加したいと思う。
笹原部会長	令和6年度の評価について、指摘事項を修正したうえで承認してよいか。 ⇒＜一同了承＞
多文化共生推進課担当係長	議題2 川崎市国際交流センターの第4期の指定管理に関する総括評価 ・「総括評価シート」の評価の視点に基づく事業期間全体の評価やこれまでの事業に対する検証、今後の事業運営方針について委員会として審議することを説明。
笹原部会長	これまでの評価の結果や指定期間全体を通じた事業の成果に基づき、民間活用による効果検証を行い、運営上の課題等の振り返りを次期仕様等に反映すること等が目的となっているので、活発な議論をお願いしたい。 議事次第に従い、「議題(2) 川崎市国際交流センターの第4期の指定管理に関する総括評価」の説明をお願いします。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

多文化共生推進課 課長	＜資料 9 「指定管理者制度活用事業 総括評価シート」に基づき説明＞
笹原部会長	全体を通して追記した方がいい事項等あったら発言をお願いしたい。
柏崎委員	2 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価の 1 （４）国際交流促進事業の中に、「日本語スピーチコンテスト」と「多文化共生推進事業」が列記されているが、今後多文化共生に関する取組は更に推進していく必要があるなかで、スピーチコンテストと同列にしているものなのか、国際交流促進事業の中の分類にしているのか疑問に感じる。事業としてここに追加し得るものはあるのか。
多文化共生推進課 担当係長	多文化共生推進事業としては多文化共生に関するまちづくりセミナーも実施している。
笹原部会長	多文化共生推進事業の必要性については過去から委員会でも話題にあがっているところであるが、多文化共生推進事業を別の枠として出すことはできないか。
多文化共生推進課 課長	現行は仕様書の範囲内で事業を行ってきたところであるが、今後必要性を加味して次期指定管理仕様書には今の指摘事項について検討したいと思う。
柏崎委員	今回の評価シートは現行の仕様書に基づいて記載しているのか。
多文化共生推進課 課長	御認識のとおりである。
笹原部会長	今の指摘事項については後の項目で触れられたらと思う。 3. これまでの事業に対する検証について何か意見等あるか。
岩崎委員	3－2 制度の活用による効果についてのうち、経費について二点ほど指摘がある。一点目として、現在の評価シートに記載の内容は指定管理の経費の推移であるが、本来は市が負担した指定管理料と指定管理導入前の経費を比較するべきではないかと思う。記載内容については検討して欲しい。また、

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	制度導入前は具体的に何年なのか記載があると金額の捉え方が変わってくるので記載して欲しい。 二点目として、次の項目で指摘すべきかもしれないが人件費の上昇や、物価上昇について、厳しい財政状態を踏まえて書いてあるが、そもそも厳しい財政状態で指定管理事業が行われること自体が持続可能性という意味では検討の余地があるのではないかと考える。収支が成り立つ形で持続可能性を考慮した指定管理事業及びその枠組みの中での良さを考えるべきでないかと思う。
笹原部長	1 点目の指摘について市の財政としてメリットがあったかどうかを記載すべきではないかとのことだが、この点についてはいかがか。
多文化共生推進課担当係長	御指摘のとおりなので修正したいと思う。書き方については確認する。
笹原部長	他の事例で市が直営の場合と指定管理で比較する事例があったかと思うので確認して欲しい。制度導入前の年度は何年度か。
多文化共生推進課職員	平成 17 年度である。平成 18 年度から指定管理者制度を導入している。
岩崎委員	平成 17 年と現在では物価指数が変わっている所以で純粋に減少していない可能性がある。そのため、記載方法については注意して欲しい。
笹原部長	他の事例についても確認して記載は検討して欲しい。岩崎委員からの 2 つ目の指摘は 4 番目の項目で再度触れたいと思う。
柏崎委員	同じ制度活用の効果についてだが、民間のノウハウを生かした事業が行われ、来館者～といった記載になっているが別の話になるので、ノウハウを生かした事業が行われたという一文で一度文章を区切ってもいいのではないか。
多文化共生推進課職員	そのように資料を修正させていただく。
笹原部会	ノウハウを生かした事業についてもう少し具体例を記載すると民間活用の

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

長	意義がよりわかるのではないかな。
柏崎委員	例えば相談事業等記載できないかな。
多文化共生推進課 担当係長	前段部分については、文章を追加したいと思う。
笹原部長	委員からの指摘事項を修正して欲しい。金額については物価の変動で純粋な比較はできないかもしれないが、本事業では民間活用をすべき点は変わらないと思うので記載方法は検討して欲しい。 4. 今後の事業運営方針について意見があるかな。
岩崎委員	この部分は市、指定管理者のどちらに対して発信すべき内容なのか。
企画課長	市と指定管理者どちらに対する側面もあると思う。
岩崎委員	2 つ目のポチについて、厳しい財政状況という文言は前提が変わってきてしまうので削除したほうがいいと思う。 その前に市に対するコメントとして、物価上昇や賃金上昇などの厳しい経済状況が今後見込まれる中、持続可能な指定管理事業として、内容を見直す必要があるといった文章を入れた方がいいと思う。
企画課長	趣旨を踏まえた上で書き方は内部で検討したいと思う。
柏崎委員	最後のポツについて多文化共生社会推進指針に基づいた外国人市民のための情報提供や学習機会の提供を充実させるための取組といった記載があるが、社会的参加を促進するといった側面がなくなっているように見えてしまう。そのため、社会参加の側面をより打ち出した文章があるといいかと思う。
多文化共生推進課 課長	現状、限定的な書き方になってしまっているので記載方法は修正したいと思う。
笹原部長	本施設は川崎市全体の国際交流の拠点でもあるが、中原区という場所に位置しているため地域の拠点としての機能も必要であると感じる。その点も踏まえて追記して欲しい。
多文化共	その点についても追記したいと思う。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

生推進課 課長	
笹原部会 長	今、指摘があった事項については修正をお願いしたい。
	閉会 ・閉会の挨拶 ・今後の流れ等について説明